

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】

令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	議事調査課長 岩原 徹	
議会-04	広報・会議録作成発行事務	☒ 自治事務	主管課	議事調査課
		☐ 法定受託事務	関連課	議会総務課
総合計画上の位置付け	分野	0-(1) 市民自治	施策の方針	0-(1) 市民自治

1 事業の目的

対象	市議会議員等
意図	市議会の正確な記録を残し、開かれた議会を目指す。
効果	市議会に対する市民の理解と関心が高まる。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

- ・本会議、常任委員会及び予算・決算特別委員会等の会議録の作成及びインターネット中継を行った。
- ・議会一年の歩みの作成・発行を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	会議録等発行事務	本会議、常任委員会等 会議録作成業務委託等	—	— / —	—	—	—
				3,523 / 6,883		6,072	
02	インターネット中継事務	インターネット中継機器 賃借料、配信業務委託 料 等	議会中継視聴者数 (人)	167,126人 / 178,000人		170,000人	93.9%
				8,728 / 8,736		9,414	
03				/			
				/			
04				/			
				/			
05				/			
				/			
06				/			
				/			
07				/			
				/			
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	12,251 / 15,619		15,486	
		事業費の合計 (千円)		12,251 / 15,619		15,486	
		人件費 (千円)			25,235	26,992	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	5.9	3.0	3.5	3.0	3.0	3.0
会計年度任用職員	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	会議録等発行事務	本会議録については、次の定例会までに作成している。委員会録については、時期や年度により会議数に差があることから、指標設定は行わないが、正確かつ迅速な作成・発行に努める。	正確かつ迅速に記録を残すことにより、市民の理解と関心が高まり、開かれた議会につながっていく。	より正確かつ迅速に会議録の作成・発行に努めること。
02	インターネット中継事務	令和5年度に視聴者数が大きく増加した実績値をベースに目標設定したところ、令和5年度から約6%の減となり、目標達成に至らなかった。	議会からの情報発信を充実させることにより、市民の理解と関心が高まり、開かれた議会につながっていく。	より分かりやすい映像配信に努めること。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	1 統合済み	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】

☐ 拡充

☒ 改善・変更

☐ 現状維持

☐ 縮小

☐ 休止・廃止

・会議録の作成については、令和5年度に委員会録の校正の工程見直しを行った取組を継続し、正確かつ迅速な作成に努める。

・本会議等のインターネット中継及び配信については、引き続きテロップの表示や一般質問資料などを掲載することにより、分かりやすい配信に努める。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	議会中継視聴者数(生中継及び録画中継)(1時間単位の視聴者の延べ人数)						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値	－	73,500	133,000	107,000	178,000	170,000	
	実績値	73,500	132,785	106,637	177,315	167,126		
	達成率	－	180.7%	80.2%	165.7%	93.9%		

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	議会広報におけるフェイスブック、X(旧ツイッター)の活用(実施済:○ いずれか実施:△ 未実施:×)(令和7年3月31日時点)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	横浜市
他市実績	△	×	△	×	×	△	×	○
	フェイスブック		フェイスブック			X(旧ツイッター)		

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	開かれた議会の実現に向けて、市議会による情報発信ツールの先進的な取組を調査研究していく。
--------------------------	--